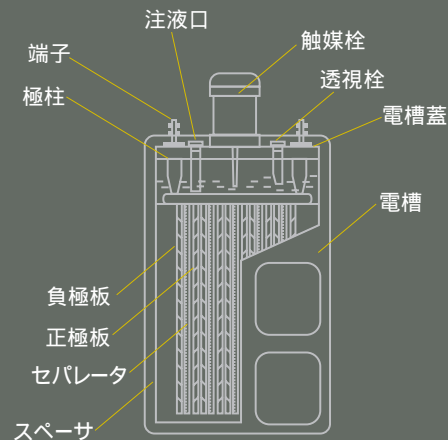


液式鉛蓄電池

過充電時に水素ガスや酸素ガスが発生するため、電解液が減少したり、腐食性の硫酸霧が発生する。そのため、電池の性能維持を目的とした補水、比重測定、均等充電などの定期保守作業が必要である。

液式鉛蓄電池の構造例



シール鉛蓄電池

従来の鉛蓄電池で発生していた保守上の問題を改善するために、1986年から直流バックアップ用として導入した。この蓄電池には、陰極吸収の原理が採用されており、蓄電池の完全密閉化が可能となって、それまで行われていた補水比重測定や均等充電などの定期保守作業が不要となった。

シール鉛蓄電池の構造

